

調査対象500社超！

『よこすかHOT景気』！

2023年
4～6月期

地域内で調査対象企業500社超の景気動向調査を実施しています。
業種別の動向を集計してお知らせしています。地域内企業の生の声を反映した、実感に基づく「景況感」を、会員企業の経営判断の参考としてお役立ていただければ幸いです。

緩やかな回復基調の一方で、 人手不足とガソリン価格高騰が懸念材料に！

調査概要

【対象期間】 2023年4月～6月期

【調査時期】 2023年7月3日(月)～7月7日(金)

【調査方法】 窓口対面調査・巡回調査・FAX調査・メールによる調査

【調査協力】 久里浜商店会(協)、衣笠商店街(振)、衣笠仲通り商店街(協)、ヨコスカダウンタウンクラブ、(一社)横須賀建設業協会、横須賀工業振興(協)

【回答企業】 505社

【内 訳】 建設業90件(17.8%)、製造業59件(11.7%)、卸売業30件(5.9%)、小売業107件(21.2%)、飲食業73件(14.5%)、サービス業118件(23.4%)、不動産業28件(5.5%) 合計505件(100%)

※当調査は、当所管内の中小企業の景気動向を把握するため四半期毎に実施いたします。

2023年(4～6月期)【業況感】

今期(4月～6月)の業況感

今期の全業種の業況感は、前期(1月～3月)と比較して、「良い」「やや良い」との回答が28.9%(前期26.6%)と2.3ポイント増加、また、「悪い」「やや悪い」との回答が29.1%(前期32.4%)と3.3ポイント減少し、業況感の改善を示している。

改善の要因として、前期と比較すると「価格転嫁を実施した」と回答した事業所が増加したことが一つの要因と考えられる。

業種別に見ると、飲食業の業況感、売上高、営業利益、次期見通しの「やや良い」のポイントが高い。これは、今年5月に新型コロナの感染上の分類を2類相当から5類に見直されたことで、消費の回復が鮮明となり、業況の改善が顕著に表れたためと考えられる。

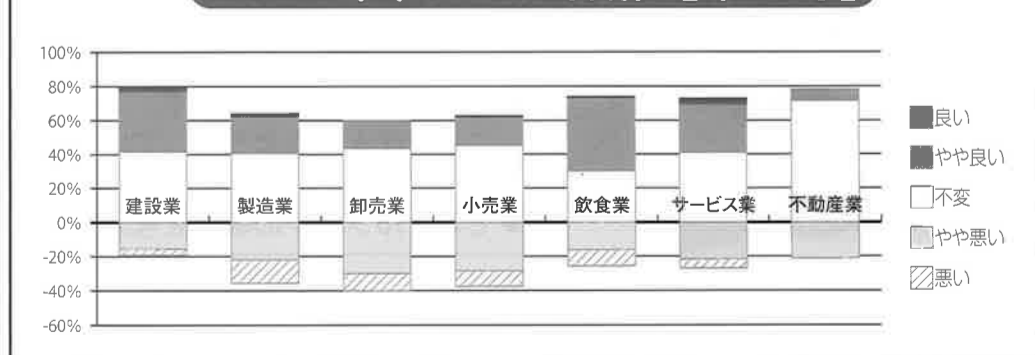
また、直面している経営課題として「人件費以外の経費増加」が3位以内に入っている業種が多いのは、ガソリン価格急騰や電気代高騰が原因であるといった多くのコメントが寄せられた。

(業況感全体概況)

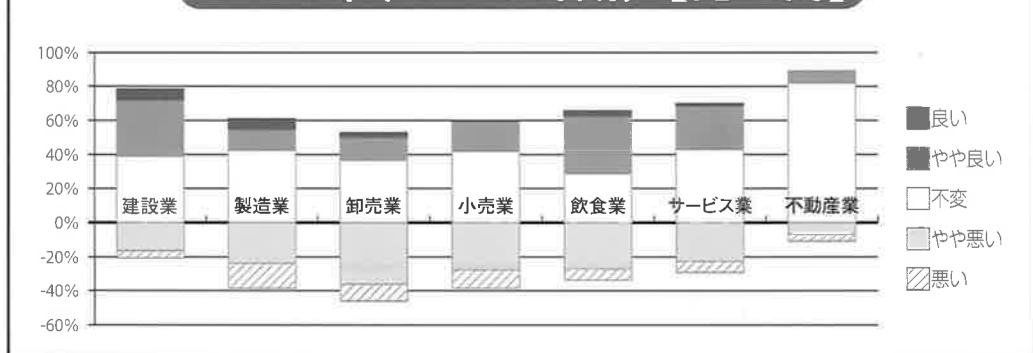
直近4期との比較	良い	やや良い	不変	やや悪い	悪い
2022 4～6月期	0.8	14.2	24.0	43.7	17.3
2022 7～9月期	3.5	16.7	33.1	29.8	16.9
2022 10～12月期	2.6	15.4	38.0	26.6	17.4
2023 1～3月期	0.8	25.8	41.0	22.9	9.5
2023 4～6月期	2.4	26.5	42.0	21.8	7.3

いずれも回答割合(%)

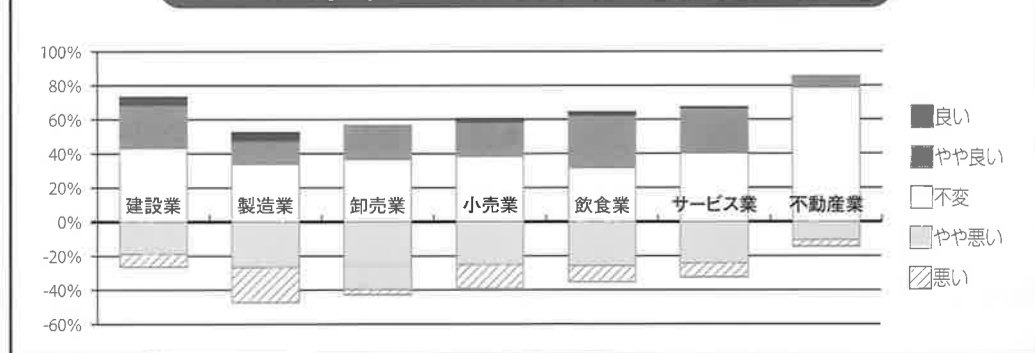
2023年(4～6月期)【業況感】



2023年(4～6月期)【売上高】



2023年(4～6月期)【営業利益】

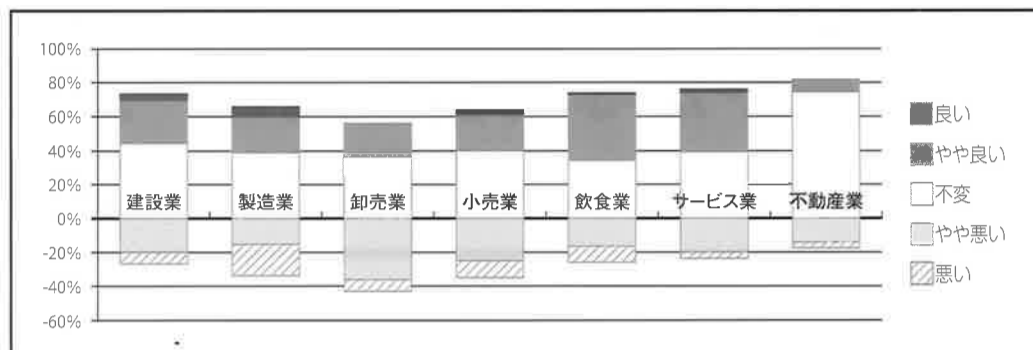


(直面している経営課題) 経営上の問題点TOP3

業種	1位	2位	3位
建設業	人手不足 26.3%	仕入単価上昇 19.5%	人件費以外の経費増加 11.0%
製造業	仕入単価上昇 20.8%	需要の停滞 14.9%	人件費以外の経費増加 12.3%
卸売業	仕入単価上昇 19.7%	需要の停滞 13.2%	人件費以外の経費増加 13.2%
小売業	仕入単価上昇 21.0%	人件費増加 15.7%	人件費以外の経費増加 14.2%
飲食業	仕入単価上昇 29.3%	人件費以外の経費増加 18.9%	人件費増加 11.0%
サービス業	人件費以外の経費増加 20.7%	需要の停滞 12.6%	物流の停滞 11.3%
不動産業	IT化の遅れ 25.0%	設備老朽化 11.4%	人件費増加 9.1%

次期(7~9月期)見通し

今期の業況感の「良い」「やや良い」28.9%と比較すると次期は、29.3%と0.4ポイントと微増した。飲食業においては、「良い」「やや良い」の割合が4割近くを占めており、需要の拡大に伴う見通しが明るくなった結果の要因であると思われる。建設業においては、売上が好調な一方で見通しが悪くなっているのは、慢性的な人手不足、資材やガソリン代の継続的な高騰が、将来的な懸念材料となっているためと考えられる。



調査に協力していただいた事業者の皆さまからの声 物価高騰の対応策・デジタル化を含む設備投資についてのコメントです。

建設業



- 仕入単価の上昇に伴い、積算基準の見直しをする。
- 仕入先の多様化。
- 発注者との協議。
- 原価管理のシステム及びインボイス電子帳簿等保存制度に対応したシステムを検討中。

製造業



- 無駄な物を見極め、必要最小限に購入。動力(電気)は極力使用しないように、節約を心掛けている。
- 在庫を作らず、受注生産することにした。その場合、直に欲しいお客様は売り逃してしまう。
- 従業員解雇及び希望退職者募集。稼働日、稼働時間減少し支出を減らす。
- 仕入先メーカーの検討。
- 出荷管理を含む総合オンラインシステムを今夏に更新予定。
- ファイルサーバーセキュリティーの更新。
- 事務的作業は、ほぼデジタル化が終わり、今後は設備の入れ替えを5年計画で進めていきたい。

卸売業



- 卸販売価格の見直しの必要があるが、現状では卸価格に小売店価格の対応が追いついておらず(価格転嫁できていない)、需給のバランスが悪い。
- インボイス制度によるソフト入れ替え。

小売業



- これから始まる「かながわPAY」を切り口に出来たら良いと考えています。今年も「よこすかプレミアム商品券」の発行があればと期待しています。
- 内容量を減少(ステルス値上げ)。今までも利益率が余りよくないので仕入れ先による値上げはそのまま上乗せするしかない。
- ガソリン価格が値上がりして困っている。
- 電気代節約。
- プリペイド決済の導入。
- 電子帳簿保存法への対応のためデジタル機器導入。
- Airレジ導入予定。

飲食業



- なるべく買いだめはせず、その日その日とこまめに仕入れをしている。市場にこだわらず品物がいいと思ったところで仕入れるようにしている。
- 値上げをした。
- セミセルフレジの導入を考えている。

サービス業



- 取引先や販管費の見直し。
- 節電の徹底。
- ガソリン価格高騰のため、節約するようにこころがけている。
- インボイス制度、電子帳簿保存法対応クラウド導入の検討。
- AI OCRを導入予定。

不動産業



- 賃料を値上げした。
- 見合わせも含めた事業の再検討。建築資材が高騰し困っている。
- マンションにネット環境の整備をした。

横須賀商工会議所は、地域の会員企業の経営を多面的にバックアップします。ご利用になりたい制度がありましたら、下記担当までご連絡ください。